



図書館の今後の方針について



4 常滑市の財政状況(収支見込)

- 「一般会計歳入歳出収支見込(平成31年度当初予算ベース)について」(平成31年2月)から一部抜粋

(単位:百万円)

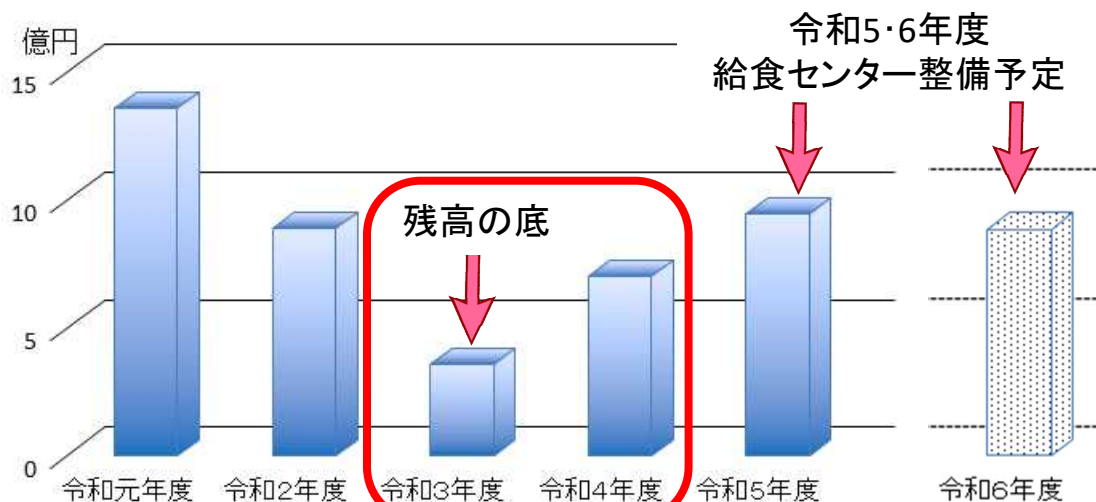
	H30年度 (当初予算)	H31年度 (ベース)	H32年度 (2020)	H33年度 (2021)	H34年度 (2022)	H35年度 (2023)
①歳入合計	21,880	24,620	25,488	23,106	21,628	22,499
②歳出合計	22,960	24,850	26,159	23,837	21,483	22,458
歳入歳出差引③=①-② (財源過不足額)	△ 1,080	△ 230	△ 671	△ 731	145	41

《財政調整基金》

歳計剰余金積立額(A)		200	200	200	200	200
財政調整基金積立額(B)		0	0	0	145	41
財政調整基金取崩額(C)		230	671	731	0	0
財政調整基金年度末残高 (前年度末残高) + (A) + (B) - (C)	1,570	1,540	1,069	538	883	1,124

- 財政調整基金残高の見込み ※「財政調整基金」p.4 用語説明参照

- ▶ 上記の当初予算(骨格予算)ベースの見込みに、6月補正予算による財政調整基金の取崩額(1.8億円)を加味した見込み



- ▶ 図書館単独で建替えを行う場合は、20億円程度必要。老朽化の状況を鑑み、できる限り早く建替えると想定すると、令和3年度・4年度に建設することとなり、基金残高の底と重なる

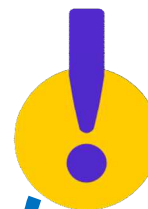
5 常滑市全体の公共施設マネジメント

- 市では「公共施設アクションプラン」を策定し、長期的な視点から公共施設の適正化に取り組んでいます

- ▶ 計画期間 2054年度までの40年間
- ▶ 対象施設 一般会計の施設のうち147施設
- ▶ 適正化目標 40年後の施設総量を2015年度比で25%削減

- 公共施設アクションプランにおける図書館の取組方針

- ▶ 市民文化会館・中央公民館との複合化による縮減



- ☑ 令和3年度・4年度は財政状況が厳しい見込みで、建替えをすることができません
- ☑ 令和5年度・6年度も給食センターの整備などにより引き続き財政状況が厳しい見込みで、建替えをすることが困難です
- ☑ 市全体の公共施設の保有量の適正化を図るためには、将来的に市民文化会館・中央公民館との複合化を目指す必要があります



10~15年以内の複合化を目指し、
それまで最小限の経費で図書館機能を維持します